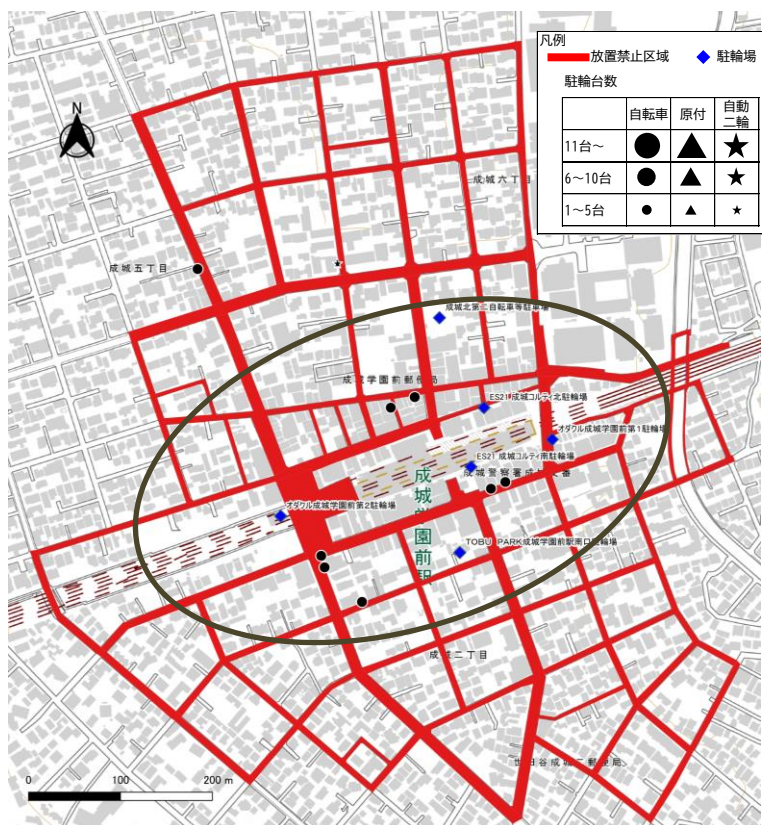


■自転車利用環境の現状と課題

成城学園前駅周辺は、駅西口の駅前広場や砧区民会館、まちの玄関口となる複合的な駅ビルなどが整備され、商業などの機能が充実し、区民の交流の「核」であるとともに、地域外に居住する区民も多く利用する拠点として、都市整備方針において「主要な地域生活拠点」と位置付けられています。

かつては、駅前の商業施設を中心に自転車等の放置がありました。駐輪場の整備台数の充足や、レンタサイクル、民間シェアサイクルの導入により、放置自転車の台数は減少いたしました。

■対応の方向性



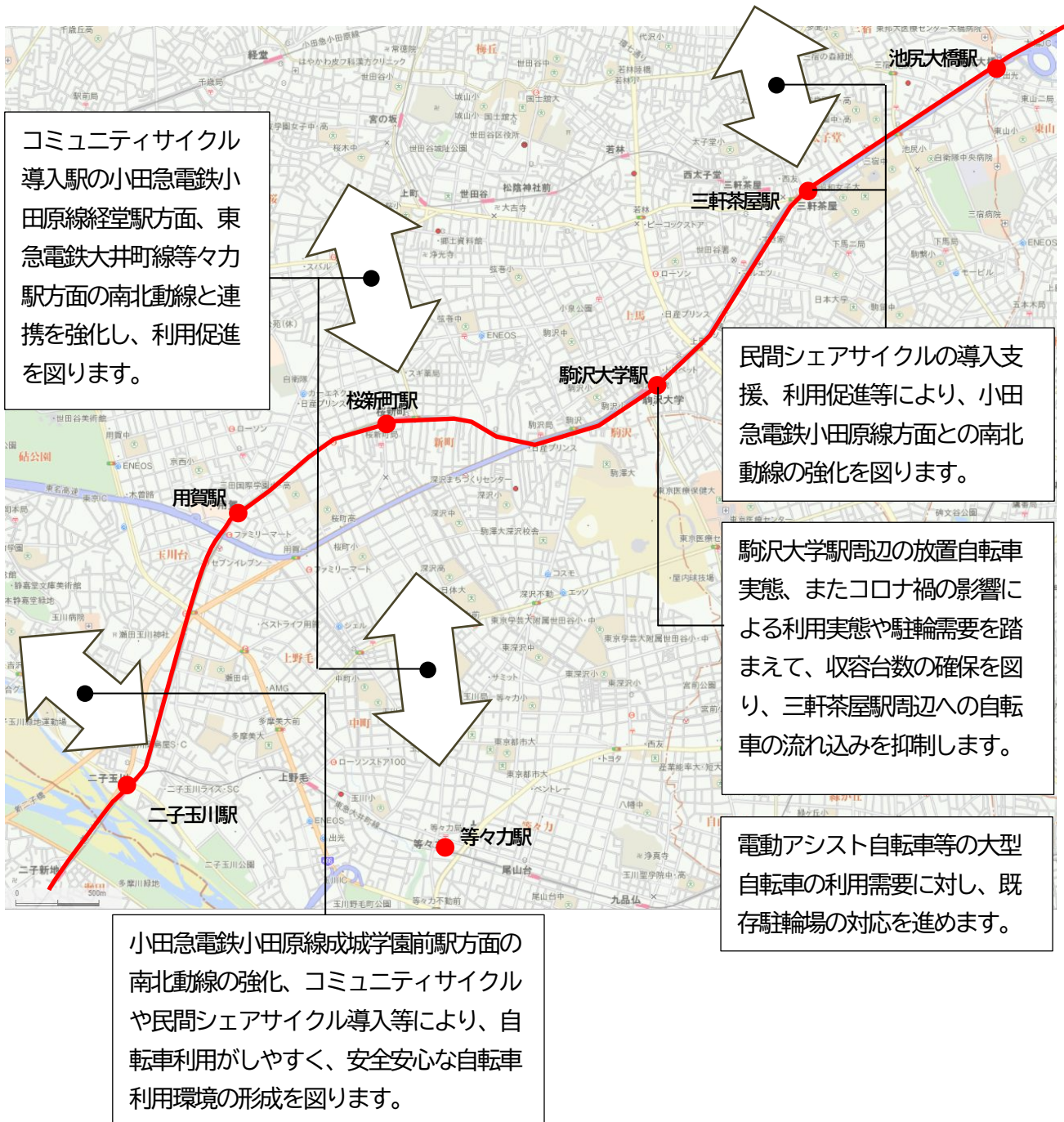
電動アシスト自転車、チャイルドシート付電動アシスト自転車等の大型車両に対応した駐輪場の設備更新を行います。

駅前の放置自転車を既存の駐輪場へ誘導するためサインなどを活用します。

■自転車利用環境の現状と課題

東急電鉄田園都市線沿線は、駐輪場の整備台数の増加の影響もあり、放置台数自体は、ピーク時に比べて大きく減少していますが、夕方の時間を中心に、駅前の買い物を目的とした放置自転車が依然として多い状況です。このことから、官民が連携して需要に見合った自転車収容台数の確保を図るとともに、短時間利用者を対象とした駐輪場の整備のあり方を検討する必要があります。

■対応の方向性



資料：「せたがや iMap」を基に作成

■自転車利用環境の現状と課題

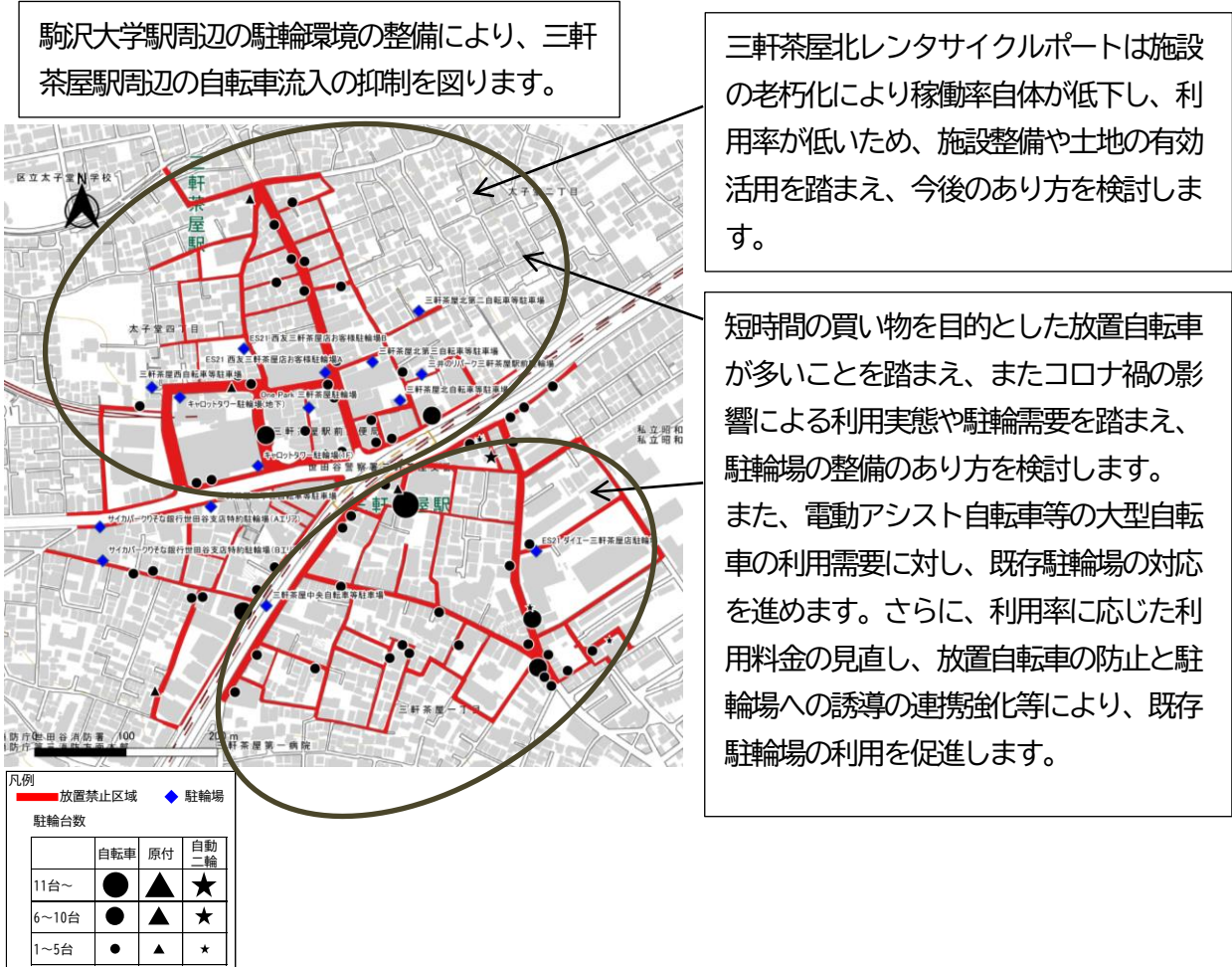
三軒茶屋駅周辺は、交通の要衝に位置するとともに、キャロットタワーが本区の文化や観光の発信地であり、商業・サービス、業務、文化などの機能が充実し、多くの人でにぎわう本区を超えた広域的な交流の場として、都市整備方針において「広域生活・文化拠点」に位置づけられています。また、2019年3月に策定された「三軒茶屋周辺まちづくり基本方針」では、「つたえる」「つなげる」「はぐくむ」を方針として掲げ、にぎわいの創出を目指しています。

駅周辺では、商業施設の前や世田谷通り、玉川通り、茶沢通りといった大通り沿いに放置自転車が多い傾向にあり、令和元年の放置自転車撤去台数は4,500台と区内では2番目に多い状況が続いています。また、玉川通りの南側の駐輪場が不足しています。官民が連携して需要に見合った自転車収容台数の確保を図るとともに、短時間利用者を対象とした駐輪場の整備のあり方を検討する必要があります。

また、駐輪場により利用率に差があるため、利用促進策を講じることにより有効活用を進め、さらに自転車利用環境の向上を図ります。

また、三軒茶屋北レンタサイクルポートは施設の老朽化により稼働率自体が低下し、利用率が低いいため、施設整備や土地の有効活用を踏まえ、今後のあり方を検討します。

■対応の方向性



■自転車利用環境の現状と課題

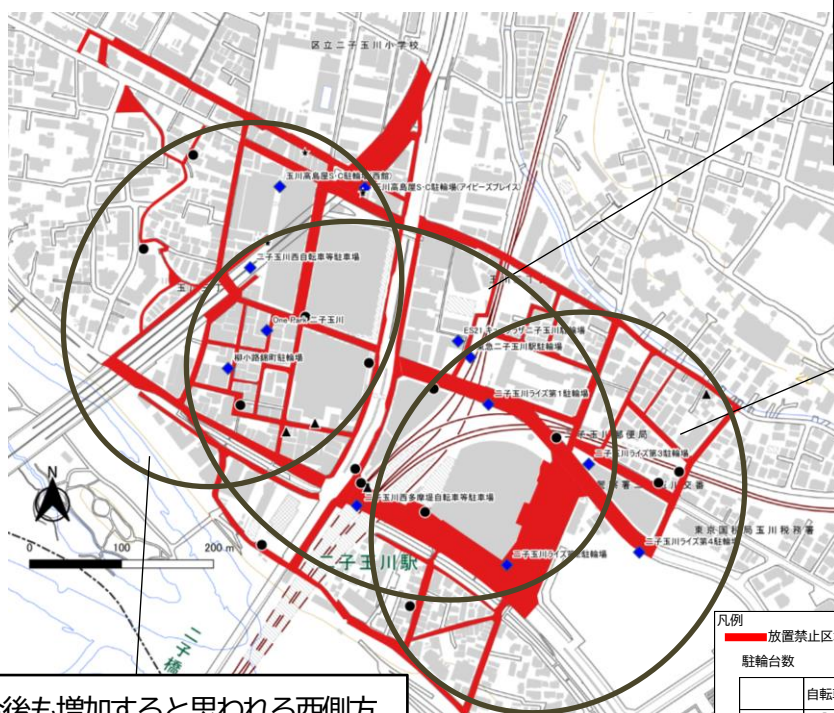
二子玉川駅周辺は、再開発事業等により都市基盤の整備や土地の高度利用、都市機能の更新が図られています。また、自然環境と調和し安全で魅力ある商業・業務・住居機能を備えた、本区を超えた広域的な交流の場として、都市整備方針において「広域生活・文化拠点」に位置付けられています。

鉄道駅としても、東急田園都市線・東急大井町線の乗換駅かつ急行停車駅であるため、駅乗降客数が非常に多くなっています。通勤・通学による駅にアクセスする自転車の利用範囲を見ると、喜多見、宇奈根など、西側に広く伸びていて、これらの地区はこれからも人口の増加が想定されるため、今後も駅への自転車乗入台数は増加すると考えられます。また、以前より兵庫島公園近辺に放置自転車が多数あり地域の課題となっています。これに対して、区では駅西側は、二子玉川西自転車等駐車を改修し、収容台数の増加を図りました。

駅東側は、二子玉川東地区の再開発により多くの駐輪場が整備されたため、まだ収容能力に余裕があり、今後、坂道を苦にしない電動アシスト自転車の普及・浸透により想定される、駅東側及び北側方面からの自転車利用の増加にも対応できると考えられます。

また、令和2年度より二子玉川における民間シェアサイクル実証実験が開始されました。二子玉川公園、多摩川河川敷等のまちなか観光資源があり、営業対象の店舗・事業所も多く存在する二子玉川では、ポートからポートへの短距離移動を基本とする民間シェアサイクルが効果を発揮することが期待されます。

■対応の方向性



駅周辺のポート確保により、民間シェアサイクルの利用利便性を高め、効果的な活用を図ります。

電動アシスト自転車の普及浸透により、今後増加すると考えられる東側・北側方面から駅周辺へのアクセスについて、既存駐輪場の有効活用や民間シェアサイクルの活用等により、対応を図ります。

今後も増加すると思われる西側方面から駅周辺への自転車アクセスに、民間シェアサイクルの活用等により、対応を図ります。

| 凡例 | | | |
|----------|-----|----|------|
| ■ 放置禁止区域 | | | |
| ◆ 駐輪場 | | | |
| 駐輪台数 | 自転車 | 原付 | 自動二輪 |
| 11台～ | ● | ▲ | ★ |
| 6～10台 | ● | ▲ | ★ |
| 1～5台 | ● | ▲ | ★ |